

～かなみっ子のすこやかな成長、質の高い乳幼児教育と保育を目指して～



つながる



函南町幼児教育センターだより 9号

令和7年4月発行

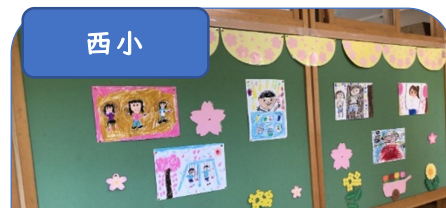
連絡先 学校教育課内
幼児教育センター 979-8121

入学間もない小学校1年生の活動を参観しました

町内小学校の入学間もない1年生の様子を参観しました。どの学校でも、1年生の子どもたちが園生活から学校生活に慣れるまでに、「ゆるやかなスタート」を意識して活動を進めていました。

子どもは緊張した様子で椅子に座っていました。新しい友達や担任の先生のことを知り、仲良くしていきたいという気持ちであふれていました。

西小



廊下には2年生が描いた絵が貼られ、1年生を温かく迎えています。

西小



子どもたちが登校したら何をすればよいのか、黒板に書いてあります。机の中のお道具箱へ学用品のしまい方も分かりやすく示しています。

朝の会が始まるまでの間、子どもたちは絵本を読んだり、お絵かき、塗り絵をしたり、自由な時間を過ごし、ゆったりと過ごします。

函南小



担任の先生が出席確認しています。

子ども一人一人の顔を見て、笑顔で名前を呼びながら「元気ですか？」と話しかけると、子どもは自分の体調や様子について応えます。

子どもにとって安心できる大切な時間です。

この学校ではチーム担任制を導入しています。低学年の先生が1年生から3年生までの担任が各学年に入って指導しています。職員間で架け橋期のゆるやかな取組を共有しています。

左の写真は、書写の授業です。子どもたちにゆっくりとした口調で語りかけ、書画カメラを使って線のなぞり方を分かりやすく説明していました。

桑村小



東小



学校生活についてのガイダンスが行われ、学校の生活のきまりや学習のルールなど、1年生でも分かりやすいように、多くの写真や絵と少ない文字を使ってお話していました。

函南小



子どもたちが集中できるように、途中に体を動かすことを取り入れていました。

国語の授業「みんなで おはなし たのしいね」

丹那小



テレビ画面に映し出された教科書のさし絵を見て、見つけたもの、気づいたことを発表しています。子どもは、細かいところまで気付き、子どもが見えにくい時は、モニターの絵を拡大して見やすいようにしています。先生は、「よく気が付いたね」とほめています。

他の子どももその言葉を共有し、言語活動につながっています。



3人で力を合わせて大きな紙を折り、紙飛行機にしていきます。前時、子どもたちは教科書のさし絵を見て、「自分たちも紙飛行機を作って飛んでみたい!」と話していたそうです。

子どもたちの「〇〇したい!」は、幼児教育からつながる大事な活動です。このあと、子どもたちは、紙飛行機に自分たちを描いた絵をのせて、教室の中で飛ばしました。とても楽しそうな笑顔でした。

「ゆるやかなスタートカリキュラム」とは

小学校入学間もない子どもは、大きな希望をもっています。一方で不安感があります。

小学校生活に少しずつ慣れていくために、園での生活を取り入れたカリキュラムが「ゆるやかなスタート」カリキュラムです。

1年生の年度初めの学年だよりでは、4月は「ゆるやかなスタートカリキュラム」で活動を行うことを保護者に説明しました。

また、週の教育計画では、「3つのタイム」（なかよしタイム）（のびのびタイム）（ぐんぐんタイム）を入れ、教科として進める（ぐんぐんタイム）の割合を徐々に増やしていきます。

町内小学校での取組は、架け橋プログラムの意図を反映しています。

1年生の週の活動計画 (A 小学校学年だより)

スタートカリキュラムについて

函南町教育委員会では、幼児教育と小学校教育との接続が円滑に進むよう、令和7年度から架け橋プログラム事業に取り組み、子供一人一人の個性・多様性に配慮した教育の充実を目指しています。

本校においても、新一年生が入学後、小学校の生活環境に慣れていく期間(4月、5月)をゆるやかな時間の流れで学習活動を進めていくために、週案に「なかよしタイム」「のびのびタイム」「ぐんぐんタイム」の『3つの学びのタイム』を位置づけます。

4月から5月にかけて、初めのうちは「なかよしタイム」の割合を大きく取り、幼児教育的な教育環境で遊びの要素を取り入れていきます。学校生活に慣れていくにしたがって、「ぐんぐんタイム」の割合を増やしていき、教科等の学習へ円滑に接続していきます。

週予定には、下記のようにイラストを使って〇〇タイムを明記していきます。

なかよしタイム		のびのびタイム		ぐんぐんタイム	
4がつ	7 (げつ)	8 (か)	9 (すい)	10 (もく)	11 (きん)
ぎょうじ		とくべつにっかつ4じかん	ぎゅうしょくかいし	ちょうかい ひなんくんれん	しんたいそくてい
あさ		あさのかい	どくしょ	ちょうかい	どくしょ
1	にゅうがく	がっかつ といれのつかいかた きがえのしかた	がっかつ がっこうの きまり	さんすう なかまを みつけよう	こくご おはなし ききたいな
2		がっかつ みんななかよし	たいいく ならびっこ おにごっこ	ぎょうじ ひなんくんれん (じしん)	しんたいそくてい しんちょう・たい じゅう(体育着で 行きます)
3		こくご おはなし ききたいな	がっかつ ぎゅうしょくの じゅんぴのしかた	せいかつ くらすの ともだち	せいかつ 6ねんせいと かおあわせ

3月26日 保幼小連絡会より

3月26日に保幼小連絡会を行ないました。

初めに、「小学校一年生のゆるやかなスタートに向けて」という動画を視聴しました。

子どもが園から小学校生活に慣れていく段階の参考になるように、幼稚園での「朝の自由遊び」「子ども意欲を考慮した教室の環境設定」「分かりやすいスケジュール表」「遊びが学び」などを紹介しました。

また、「ゆるやかなスタートカリキュラム」についての説明もしました。(上記に記してあります)

この会終了後のアンケートでは、就学児についての情報交換が、「できた」「ほぼできた」を合わせて100%となりました。

- ・直接話を聞くことで、その子の特性やよさを具体的な姿でイメージすることができました。
 - ・資料があったので、落とすことなく情報を伝えることができた。学校側と情報共有ができた。
 - ・子どもたちのスタートに合わせて、校内でも少しずつ手だてを考えられるのでありがたい。
- などの感想や意見が寄せられました。



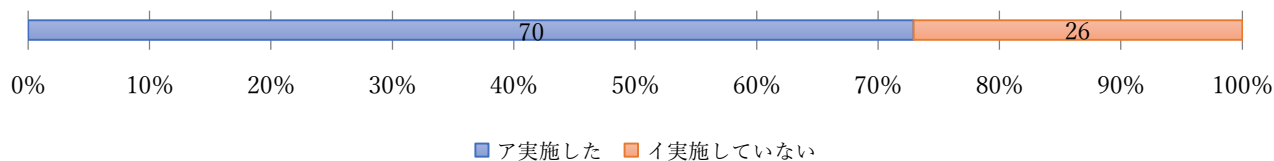
架け橋プログラム事前アンケートより

昨年度末に「架け橋プログラム事前調査」を行いました。調査対象は、園小中学校の管理職、主幹・教務主任、園の主（おも）主任、小1担任、年長担任、保育者です。



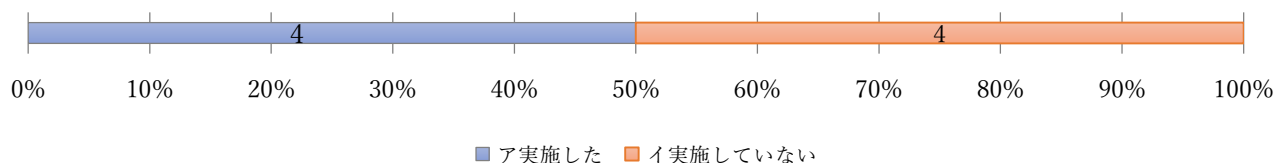
小学校、園の先生方がお答えください。

今年度、アプローチカリキュラムまたは、スタートカリキュラムを実施しましたか。

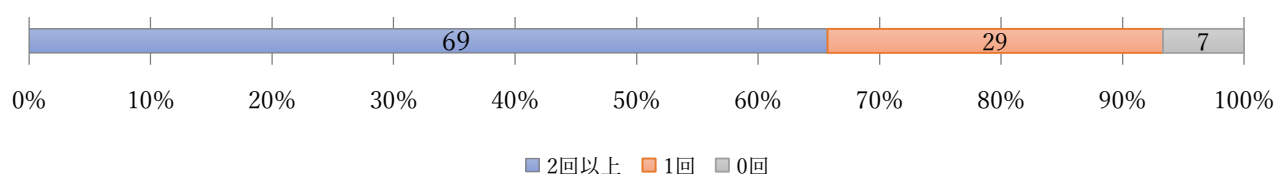


中学校の先生方がお答えください。

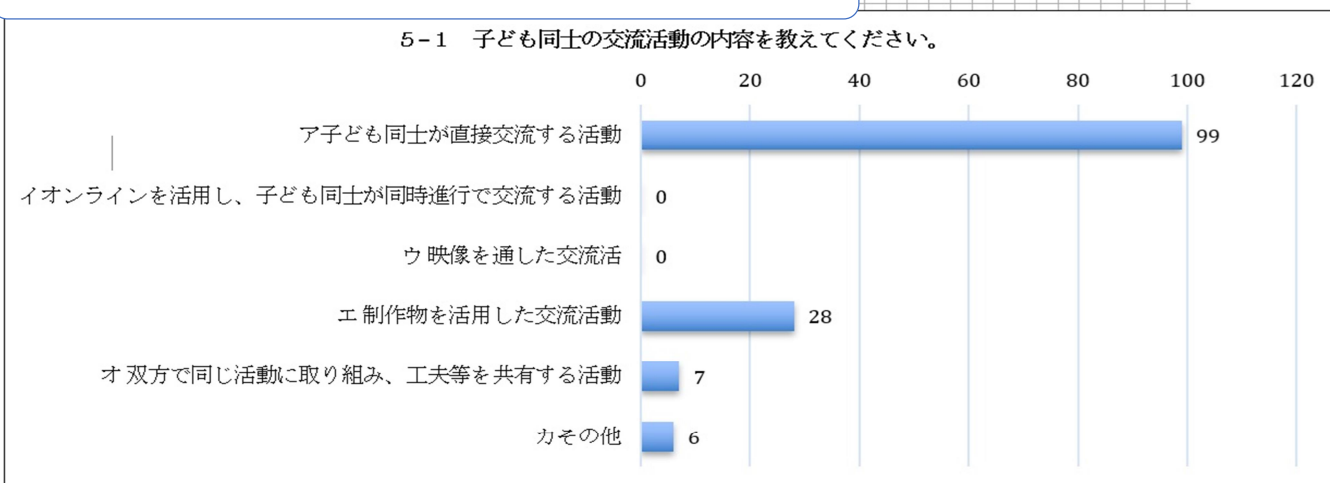
今年度、小6から入学してきた中1に対するゆるやかなカリキュラムを実施しましたか。



今年度、園の子どもと小学生、中学生同士と一緒に活動する「交流活動（家庭科の授業、職場体験など）」は何回実施しましたか。



子ども同士の交流活動の内容を教えてください。（複数選択可）



昨年度、交流の窓口を「小・中学校は主幹教諭・教務主任、幼稚園・保育園は園長」と明確にしました。町教研の接続委員会を中心に、子ども同士の交流や授業交流を進めていくことを確認しました。子どもの様子を語り合い、育てたい力について幼稚園、保育園、小学校、中学校の先生方が考えを共有していくことが、円滑な接続を促します。

